

FOCUS まちの話題

※広報紙に掲載した写真は、本人や家族などに無料で差し上げます。
希望される方は、秘書課秘書広報係(☎26-2216)までご連絡ください。

8/25 深川地区消防組合第61回深川消防演習 総合体育館駐車場



もしもの災害に備え 地域防災力の向上

8月25日、消防職員や団員の資質向上と地元住民の防災思想の普及などを目的とした深川消防演習が総合体育館駐車場で行われました。開会式に先立ち、元深川消防団分団長の水野稔さんに名誉消防団員の称号が贈られました。演習では、消防職員のほか、第1〜5分団と女性分団、機能別団員の約170名が参加し、分列行進や規律訓練のほか、息の合ったポンプ操法や放水訓練などを行い、いつ発生するか分からない災害に備え、懸命に演習に取り組んでいました。

市では、欲しい情報を選択して受け取ったり、知りたい情報をチャット形式で調べることができる「**深川市公式LINE**」を開設しました。ぜひ友だち登録をお願いします。【QRコードは右記】



市ホームページ「発信!まちのできごと」では、市内で開催されたイベントや季節ごとの風景などを紹介しています。広報紙では紹介しきれない記事や写真も掲載していますので、ぜひご覧ください。【QRコードは右記】



9/6 複合施設愛称募集企画「伝わるネーミングセミナー」 市役所



深川駅西側複合施設 愛称づくりに挑戦

9月6日、令和8年秋の完成を目指し、JR深川駅西側に建設を進めている複合施設の愛称募集企画「伝わるネーミングセミナー」を市役所で開催しました。初めに、同施設の概要やコンセプトについて担当者から説明した後、株式会社インプロバイドの池端宏介さんを講師に迎え、愛称の付け方やイメージ作りに関する視点を学びました。参加者は、実際に複合施設の愛称をテーマにしたワークショップに取り組み、講師からアドバイスを受けながら、多彩なアイデアを寄せていました。



9/2

退任した委員に
感謝状

長年にわたり、市中小企業保証融資審議会委員として、本市の中小企業の振興や発展などに尽力し、本年7月に同委員を退任した杉山一成さんが9月2日に市役所を訪れ、田中市長が感謝状を贈りました。



8/19

協定締結式

市と栗山町立北海道介護福祉学校を運営する栗山町は、介護分野における人材の育成・確保や定着促進、福祉教育の推進を図ることを目的とした「介護人材の確保に関する包括連携協定」を8月19日に締結しました。



8/26

拓殖大学工学部「もの作り教室」in深川

8月26日、深川中学校で拓殖大学工学部もの作り教室が開催されました。教室では同大学の教授や学生が講師を務め、電子工作が可能なマイクロビットを使用したプログラミング体験が行われ、生徒たちは電子工学への興味と理解を深めていました。



9/12

令和7年度米市内検査場出荷状況調査

9月12日、田中市長が深川マイナリーと多度志・納内・一已・音江に所在するコメ検査場の計5カ所を訪問し、令和7年度の新米の品質と出荷状況を確認したほか、コメの検査業務や検査設備などを視察しました。



9/12

認知症講演会

9月の認知症月間に合わせ、若年性認知症当事者で、ほっかいどう希望大使の松本健太郎さんなどを講師に招き、認知症講演会を開催しました。講演では、早期に受診することの大切さなどを説明し、参加者は認知症への理解を深めていました。



8/28

第10回納内地域徘徊模擬訓練

第10回納内地域徘徊(はいかい)模擬訓練を開催しました。若年性認知症当事者で、ほっかいどう希望大使の横山弥生さんを講師に招き、音楽活動を通じた認知症との向き合い方の講演を行ったほか、炊き出し訓練としてカレーライスを味わいました。



8/23

移住者交流会

8月23日、本市に移り住んだ方の交流や情報交換を目的とした移住者交流会をアグリ工房まあぶで開催しました。参加者は多度志産のソバ粉を使用したソバ打ち体験後、自分たちで打ったソバを堪能しながら和やかな空気の中で親睦を深めていました。



8/31

生涯学習推進事業

8月31日、金融経済教育推進機構の渡邊ゆかさんを講師に招き「人生100年時代に備えるお金の話」講座を開催しました。豊かな老後に向けた将来設計や資産形成、相続の仕組みなどについて説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。